

顔学会ウラの力オ

～学会運営に携わる委員会のご紹介～

企画チーム

顔学会の『企画』は、長らく花王(株)ビューティリサーチ & クリエーションセンター村上泉子と東京藝大の宮永美知代が担当しており、2019年より原島博元会長が加わり、「イブニングセミナー」「顔学特別講座」等を開催してきました。これまでに、中央大学の山口真美先生、花王(株)スキンケア研究所の今井健雄さん、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の渋井進先生と多くの理事の方々が歴任されています。

『企画』のメインであった「イブニングセミナー」は、不定期に年2～3回、19時から会場をお借りして開催し、第58回まで順調に続きましたが、COVID-19蔓延のため、2020年2月26日が対面での集まりの最後となりました。

その後、菅沼会長はじめ総務会主導で、集会不能の無念を吹き飛ばすかのようにZoomを使つての「オンラインサロン」が立ち上げられ、当初は月2回のハイペースで続けてこられました。やがて毎月の第1もしくは第2火曜日の20時から開催されるようになり、2022年1月からは『企画』に仕事を任せられ、似顔絵の斎藤忍さんも



『企画』にお迎えし、今日に至ります。

「オンラインサロン」は対面の「イブニングセミナー」より1時間遅い20時からの開始で、ご参加の皆様は、早めにお夕飯を済ませて、そして終了後はそのまま、お風呂に入ってお眠るなり、気楽にご参加いただける手軽さがあります。対面ではとても叶わない遠い地域や国からのご参加もあり、まるで、顔学会『千夜一夜物語』となっています。話題提供いただいた先生方も完全にボランティアでご協力くださり、その熱いご厚志に深く感謝いたしております。

またいずれ、対面での「イブニングセミナー」も並行開催できるといいですね。皆様にお集まりいただける日が来ることも楽しみにしています。

(村上 泉子・宮永 美知代)

編集委員会だより

「ニュースレター」第78号をお届けします。長引くコロナ禍、オンラインであってもFace to Faceのつながりを持つことができる技術の急速な進歩、普及を感じます。編集委員会でも2月22日にZoomを活用したオンライン編集会議をオープン開催し、編集委員に加え3名の方に参加いただき、新しく1名の編集メンバーを迎えることができました。

会議では編集に関する話題のほか、会員のみなさんにもニュースレターの内容に参画いただける仕組みなどの提案がありました。3月より電子広報委員会の協力のもと、顔学会ホームページ内のニュースレターページに意見投稿フォームが設置されています。企画や投稿内容について、ぜひ会員の皆さまのアイディアをお寄せ下さい。(富澤 洋子)



発行：日本顔学会 © 編集・製作：日本顔学会 J-FACE 編集委員会 日本顔学会事務局
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 バレスサイドビル 9F 株式会社毎日学術フォーラム内

TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555

発行日：2022年5月25日 *無断転載を禁じます。

J-FACE NEWS LETTER

日本顔学会ニュースレター 78号

25 MAY 2022 Vol.78 <https://www.jface.jp>

Contents

- P1. Now the Face
- P2. 第24回若手交流会報告
- P3. 顔学オンラインサロン報告 第31回～第34回／美人画研究会報告／図書紹介
- P4. 顔学会ウラの力オ／編集委員会だより

スポーツ選手からアスリートへ
—令和オリンピックの顔

かつて「スポ根」というジャンルが人気を博していた。スポーツ選手の主人公が強靱な精神力と努力によって成功を勝ち取っていく物語だ。そのせいか、昭和のスポーツ選手には汗や涙がつきまとう。流行や洗練とは対極のイメージだ。

しかしながら、スポーツ選手がアスリートと言われるようになった平成に、そのイメージは大きく変化した。強靱な精神力や努力に加えて、ビジュアル系の波が男子オリンピック選手にも押し寄せたのだ。長野オリンピックで大活躍したスキージャンプの船木和喜選手はジャンプの美しさもさることながら、整った美しい眉も話題になった。

それから四半世紀。今やファッションの流行はスポーツから生まれる時代である。近年注目されているスタイル「アスレジャー」とは、アスレチック+レジャーの略であり、アスリートこそオシャレのお手本なのだ。

そんな現代のファッションリーダーたちを北京オリンピックの面々からピックアップしてみよう。

まずは、誰もが認めるこの人、平野歩夢選手。彼が、新しいアスリートのイメージを決定づけたと言っても過言ではないだろう。最新のドレッドヘアを含めて常にそのスタイルが注目の的だ。ファッションに加え、インタビューでのクール

な雰囲気も人気を集めている。流行を追いつながら我が道を行くのがとても「今っぽ」いのだろう。

女性アスリートのファッションリーダーといえば、高梨沙羅選手。彼女は、オリンピックごとにより洗練され、変貌を遂げている。ジャンプだけでなく、美においても高みを目指しているようだ。イケメンと名高い小林陵侑選手とともにスタイリッシュなアスリートの代表であり、InstagramなどのSNSでもその姿を積極的に発信している。

SNSで話題になると言えば、「そだねー」「もぐもぐタイム」と流行語を生み出すカーリング女子も外せない。一生懸命競技をしているのに、なぜか雑誌に出てくる読者モデルのような華やかさもある。競技中も顔がゴーグルなどで隠れることのないカーリング女子たちは他の競技に比べてメイクにも力が入っているようだ。

メイクやファッションによる自己プロデュースが女性アスリートの専売特許でなくなって久しいが、男性アスリートもさらに進化している。その代表的な存在なのがフィギュア男子だ。ヘアスタイル、顔、衣装も含めてどれだけ自分の世界

観を表現でできるかが問われる競技だが、その中でも「王者」の風格が漂うのが羽生結弦選手である。

「これからも羽生結弦として羽生が大好きなフィギュアスケートを大切にしながら極めていきたい」という会見でのコメントにすべてが集約されている。「どんな演技を目指すか」だけでなく、「何を皆さんに見せていくか」を常に考えているという。それが、昭和のスポーツ選手と令和のアスリートの最大の違いではないだろうか。

スポーツ選手は、競技で結果を出すことだけを考えてきた。しかし、アスリートは競技の結果に加えて、「見られる存在」であることを常に意識し、「どう見せるか」を考えている。

デジタルネイティブ世代である令和のアスリートにとっては、ジェンダーを超えてもはや当たり前のことなのだろう。

次のオリンピックでは、さらにアスリートのビジュアル化、ジェンダーレス化がすすんでいるに違いない。私たちは令和オリンピックの顔にますます魅了されることだろう。

(似顔絵：橋本 憲一郎、文：米澤 泉)

第24回若手交流会報告

若手交流会第24回の定期交流会は、2021年5月29日にオンラインにて開催されました。今回は、「深層生成モデルと潜在変数空間の活用ー〇〇っぽい顔の生成ー」について、株式会社Fringe81の周東拓哉さんをお招きしてご講演を頂きました。周東さんは、深層学習を行う上で必要な、潜在変数空間の応用手法について研究されており、深層学習の基礎知識から実際の顔画像生成事例まで、初心者の方にもわかりやすく解説頂きました。基礎知識としては、Generative

Adversarial Networks (GAN) というデータ生成モデルについての解説から始まり、潜在変数が持つ空間の性質（潜在空間は連続性を持っており、属性ベクトルの相関関係によって任意の画像を生成できるということ）等についてお話を頂きました。そのうえで、今回の講演の題目である、〇〇の集団っぽい顔の生成手法についてお話は進みました。周東さんが顔画像生成を行う際に取られたアプローチは、実際の顔画像をStyleGAN2というモデルに模倣させることで潜在変数



へと変換、サンプルの潜在変数群から顔分布の計算を行い、顔分布からサンプリングにより顔画像を生成するというものでした。この手法を用いることで、従来の単純な画素の平均による平均顔とは違い、ボケのない平均顔を生成可能であることを示されていました。さらに、潜在変数の主成分を計算することで集団特有の特徴軸が抽出可能となり、〇〇の集団っぽい画像の生成を実現しているとのことでした。例として紹介頂いた格闘家の事例では、こういう格闘家いる！と言ってしまふような顔画像が生成されており、皆驚いてしまいました。講演後は、交流会として参加者が2つのグループに分かれ、グループ1では講演内容の深掘りを、グループ2では深層学

習の心理学系への応用可能性等についての議論が行われました。どちらのグループも時間いっぱいまで話題が尽きず、あっという間に今回の交流会は終了となりました。皆様のお力添えのおかげで、若手交流会は今年で発足10周年という節目を迎えることが出来ました。今年は10周年イヤーという事で、これまで以上に多くの方と交流が出来るような企画を検討しております。これまで若手交流会に参加するタイミングの無かった皆様も、このタイミングで是非1度ご参加頂き、様々な方との交流を楽しんでみてはいかがでしょうか。皆様のご参加をお待ちしております！ (安藤 圭佑)

顔学オンラインサロン報告 第31回～第34回

新型コロナウイルスの収束は見通せないままですが、顔学オンラインサロンは引き続きZoom方式で月1回のペースで継続しています。

○第31回 2022年1月11日 (火)

話 題：奥行きをなくした顔の時代
～リモート顔とマスク顔の間で～

話題提供者：甲南女子大学教授
米澤 泉氏

○第33回 3月8日 (火)

話 題：顔と歯の関係を探る
～歯ならびで口元はどのように変わるのか～

話題提供者：東京医科歯科大学大学院歯科総合研究科助教
辻 美千子氏

○第32回 2月8日 (火)

話 題：化粧品の新時代がやってくる
～コロナが変えた日本の化粧品市場～

話題提供者：武庫川女子大学客員教授
南野 美紀氏

○第34回 4月12日 (火)

話 題：顔の描き方
～アオリと俯瞰、そのディテール他～

話題提供者：画家・アニメ作画指導
上田 耕造氏

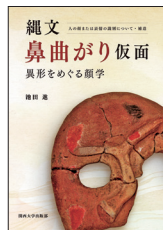
美人画研究会報告

顔学会連携企画・美人画研究会Zoomミーティング報告はQRコードからご覧ください



図書紹介

縄文鼻曲がり仮面
異形をめぐる顔学
人の顔または表情の識別について・補遺
池田 進 著



ISBN-10 : 4873547490
ISBN-13 : 978-4873547497
発売 : 2022年3月
定 価 : 5,100円 (本体)
発行所 : 関西大学出版部

電車の顔図鑑
JR線を走る鉄道車両
江口 明男 著



ISBN-10 : 4635820149
ISBN-13 : 978-4635820141
発売 : 2017年9月
定 価 : 1,600円 (本体)
発行所 : 天夢人

僕はメイクしてみることにした
糸井 のぞ 著
鎌塚 亮 企画・原案



ISBN-10 : 406526796X
ISBN-13 : 978-4065267967
発売 : 2022年2月
定 価 : 1,070円 (本体)
発行所 : 講談社

美容資本
なぜ人は見た目に投資するのか
小林 盾 著



ISBN-10 : 406526796X
ISBN-13 : 978-4065267967
発売 : 2020年3月
定 価 : 2,970円 (本体)
発行所 : 勁草書房